作業計画と実績

2010年11月01日現在

<table>
<tr><th>月日</th><th>曜日</th><th colspan="2">予定
(10/25週間予定表より)</th><th colspan="2">実績</th></tr>
<tr><td>10月25日</td><td>月</td><td></td><td rowspan="10">[継続実施中]

○船内利用

・「きぼう」船内の
宇宙放射線計測
(Area PADLES)

・タンパク質結晶生成
宇宙実験
(JAXA PCG)

○船外利用

・宇宙環境計測ミッション
(SEDA-AP)

・オゾン層を破壊する
大気微量成分の観測
(SMILES)
(※4/21より観測中断中)

・全天のX線天体の監視
(MAXI)</td><td></td><td rowspan="10">[継続実施中]

○船内利用

・「きぼう」船内の
宇宙放射線計測
(Area PADLES)

・タンパク質結晶生成
宇宙実験
(JAXA PCG)

○船外利用

・宇宙環境計測ミッション
(SEDA-AP)

・オゾン層を破壊する
大気微量成分の観測
(SMILES)
(※4/21より観測中断中)

・全天のX線天体の監視
(MAXI)</td></tr>
<tr><td>10月26日</td><td>火</td><td rowspan="4">マランゴニ
実験</td><td rowspan="4">マランゴニ
実験</td></tr>
<tr><td>10月27日</td><td>水</td></tr>
<tr><td>10月28日</td><td>木</td></tr>
<tr><td>10月29日</td><td>金</td><td>・Microbe実験
(サンプル採取)</td><td>・Microbe実験
(サンプル採取)</td></tr>
<tr><td>10月30日</td><td>土</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>10月31日</td><td>日</td><td></td><td></td></tr>
</table>

日付は日本時間

略語　マランゴニ実験:　マランゴニ対流におけるカオス・乱流とその遷移過程
(代表研究者: 西野耕一　横浜国立大学大学院 工学研究院 教授)
Microbe実験:　国際宇宙ステーション内における微生物動態に関する研究
(代表研究者: 槇村浩一　帝京大学医学部 准教授、那須 正夫　大阪大学大学院 教授)
Area PADLES:　「きぼう」船内の宇宙放射線計測
JAXA PCG:　タンパク質結晶生成宇宙実験
SEDA-AP:　宇宙環境計測ミッション装置
SMILES:　超伝導サブミリ波リム放射サウンダ
MAXI:　JEM搭載全天X線監視装置